

令和元年度 消防本部の重点課題

部長名 田中 道久

<全体方針>

通信指令台の共同運用、住宅用火災警報器の普及啓発や消防水利の充実、消防車両の更新整備及び消防職員・消防団員の活動能力の向上を図り、消防力を強化します。

<課ごとの指導方針>

総務課

適切な予算編成や予算執行及び決算、また消防行政財産の適切な管理を行う。また署所に勤務する職員の適正な配置について検討を進めるとともに、消防職員及び消防団員に対して効果的な教養、訓練を実施して消防力の強化を図ります。

予防課

市民の生命、身体及び財産を火災から守るため、火災予防を推進するとともに、予防行政の充実を図るため、事業所等の立入検査を実施し、消防法令を遵守させ、火災を未然に防止及び、危険物の漏洩等の事故防止のための行政指導を行います。

防災課

更新計画に基づき、消防車両の更新を行います。

救命処置の普及啓発を図るとともに救急車の適正利用を広報します。

令和元年度 各課の重点的取組

最終評価

課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	評価 (進捗結果)	所見
総務課 (各課、各署)	★高度な災害対応能力を持った 職員の育成	●若手職員の育成を強化するとともに、階層別研修を充実させます。また、消防大学校、県消防学校への入校を促進し、専門知識に関する研修を充実させま	○訓練・研修計画の作成とそれに基づく教育訓練・各種の研修の実施により、多様化する災害に迅速・	C	消防大学校 3名 県消防学校 初任教育 6名 専科教育 18名

		す。	的確に対応できる職員の育成と活動能力の強化を図ります。 消防大学校 3名 県消防学校 初任教育 6名 専科教育 19名 特別教育 12名		特別教育 10名
総務課	★地域防災力の強化	●消防団員の確保を実施します。	○市広報などの手段や様々な機会を捉えての勧誘、加入の促進を図り、定員698名の充足を目指します。	C	実人員 633名 地域の防災訓練等での勧誘活動を実施。 機能別団員制度を導入し、基本団員を含め消防団員の確保に取り組む。また、休業制度を創設し消防団員の離職を防ぐ。
総務課 (防災課)	★消防団員の救命処置技術の向上	●火災や水防だけでなく、救命処置技術の向上を図ります。	○平成29～31年度中に全分団に救命講習を実施します。	C	17分団中16個分団実施済み。残る1個分団については3月実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の対応のため、開催を延期している。
予防課	★立入検査の充実	●防火対象物及び危険物施設への立入検査を実施する。過去の指導状況を踏まえ法令遵守の状況を確認する。	○防火対象物等においては、複合用途の特定防火対象物に重点を置き、火災予防及び減災対策を	B	防火対象物 3673棟 立入検査数 276件 特定の複合用途 71件 物販店舗 49件 飲食店舗 29件

			図り、危険物施設においては、危険物取扱者による適正な維持管理を指導し、漏えい事故等を未然に防止するよう効率的な立入検査を実施する。月間10件を目安に実施する。		その他の対象物 127件 危険物施設数 357施設 立入検査数 133件 行政指導 57件 漏洩事故 0件
予防課	★住宅用火災警報器の設置、点検の推進	●火災予防に関する記事を市のホームページに掲載するとともに、全国火災予防運動期間中に「広報まるがめ」へ掲載、また、講習会等機会あるごとに啓発を行います。	○市民広報を通じて防火意識の高揚と効果ある初期消火・避難活動の啓発を行います。また、住宅用火災警報器の設置と点検を推進し、住宅火災の被害軽減及び住宅火災による死者を0名とします。	D	住宅火災 8件 死者 1名 市民広報 大型店舗での市民広報活動 月 2回計画(7～11月全10回) 火災予防週間 2回 計 12回 出前講座 8回 広報まるがめ掲載(6月・11月) SNS 広報 3回 住宅用警報器設置率 70.4%(63.2) (無作為抽出調査 443世帯)
防災課	★消防車両の更新配備	●消防車両の使用年数及び走行距離等を考慮し、計画的な更新配備を行います。	○更新台数 消防署 3台 消防団 5台	C	更新車両計画に基づき予定どおり実施済みである。

防災課	★救急車の適正利用の推進	●ポスター掲示及び救命講習・ 防災訓練等の機会を捉え、啓 発活動を実施します。	○社会通念上不適正 と思われる救急要 請の抑制を図りま す。	C	署・団・コミュニティー及び市内のさまざま な機関に依頼し啓発活動を実施した。
防災課	★救命率の向上	●救命処置の普及啓発 ●上級・普通救命講習の実施	○年間目標 2500名 ○年間目標 200名	B	普及啓発については年間 3,106 名、普通救命 講習受講者については323名、と目標値を大き く上回った。